

声にならない「助けて」に、 応え続けてきた。

(一社) アイネット 理事長 浅沼秀司 Asanuma Shuji



浅沼さんは、筑西市で不登校やひきこもりの方々に向き合い続けてきた支援者です。
 原点は、自分の子の不登校でした。「あの時は、何が正解か分からなくて、ただ苦しかった」。
 そのつらかった実体験が、今の事業につながっています。
 浅沼さんが、支援の中で何よりも大切にしているのは、答えを急ぎすぎないこと。
 「彼らの大丈夫という言葉を、そのまま信じちゃいけないんです」。
 家を安全で安心な場所に戻し、叱らず、追い詰めず、でも絶対に関係を切らない。
 「立ち上がらなくていい。今は、休んでいい」。そう伝え続けることが大切だと言います。
 関わった方とは10年、15年と伴走する覚悟で、「ここにいていい」「ひとりじゃない」と、
 今日苦しんでいる方々にそっと寄り添っています。

■ 浅沼さんのおすそわけは、
不登校・ひきこもりに関してアドバイスすることです。

連絡先は、TEL.0296-48-6631

茨城県ひきこもり相談支援センター